

Watching!!

★ウォッチング★

ぐるっと散策!

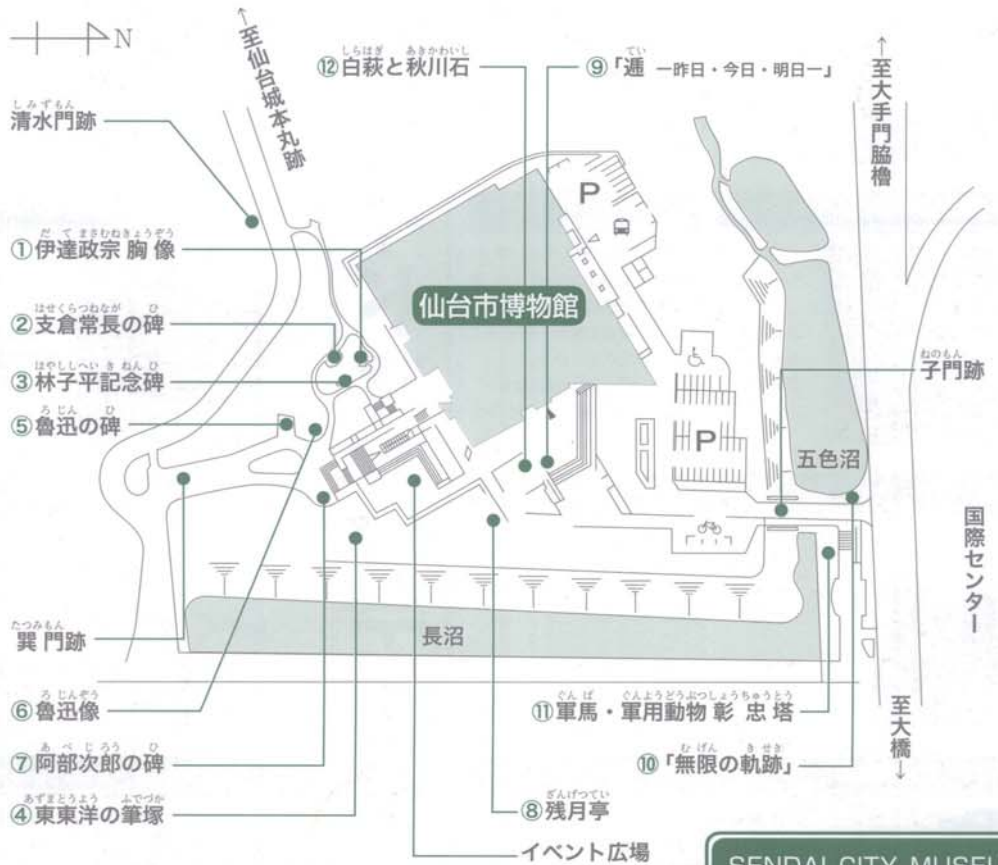
■博物館のまわりを散策してみませんか？

仙台市博物館は仙台城三の丸跡に建っています。

仙台城三の丸がいつ造られたかは不明ですが、2代藩主伊達忠宗が仙台城二の丸を造ったこととほぼ同じ時期と考えられています。またそれ以前の伊達政宗の時代には、庭園や茶室をともしなう屋敷があったことが発掘調査の結果からわかっています。政宗がしばしば休息した下屋敷があったのかも知れません。

江戸時代の城下絵図などには「蔵屋敷」「御米蔵」「三の丸」「三の丸米蔵」などと記されており、仙台藩の年貢米などの収蔵施設として利用されていたことがわかります。広さは東西約144m、南北約117mでした。1961年に仙台市博物館が建てられ、2003年には三の丸跡を含む仙台城跡が国の史跡に指定され、現在に至っています。

史跡公園として仙台城の遺構が保存活用されているほか、博物館のまわりには記念碑や彫刻なども設置されています。また春は桜、夏ホトトギス、秋は白萩など、季節折々の花鳥が目を楽ませてくれます。今度は博物館から外に出て、ぐるっと散策してみませんか？



●駐車場普通車 50台、バス5台駐車可能 ●仙台宮城インターより約10分
●仙台市営バスご利用の場合 仙台駅西口バスプール⑨より青葉通経由の青葉城趾循環・青葉台・宮教大・成田山行、または⑤-3より「るーぶる仙台」で博物館・国際センター前下車、徒歩3分。

SENDAI CITY MUSEUM
仙台市博物館
 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地
 TEL022(225)3074(代表) / FAX022(262)7947
 URL <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>

データの見方

形状 作者 材質 高さ 年 設置年 設置者 備考

仙台城三の丸跡ガイドマップデータ

1. 伊達政宗胸像 (だてまさむねきょうぞう)



1935年に宮城県青年団が仙台城跡の天守台に設置した伊達政宗騎馬像の一部。戦時中の金属供出のため胸から下が溶かされた。作者の小室達は宮城県柴田郡柴田町出身。現在天守台にあるものは2代目。

形 胸像 作 小室達
材 ブロンズ 年 1962年 設 仙台市

3. 林子平記念碑 (はやししへいきねんひ)



林子平 (1738-1793) は江戸時代後期に「海国兵談」や「三国通覧図説」を著し、外国の事情と日本の海防の必要性をいち早く説いた。1968年小笠原群島日本返還にちなみ建立。

形 レリーフ 作 阿部正基 材 ブロンズ
年 1970年 設 仙台ライオンズクラブ

5. 魯迅の碑 (ろじんのひ)



中国文学の父で思想家でもある魯迅 (1881-1936) は、青年時代の1年半を医学生として仙台市で過ごした。祖国の危機を知り、民族の魂を救うことが急務であるとして、この地で医学から文学へと志を転換した。

形 レリーフ 作 翁朝盛 材 ブロンズ
形 石碑 材 石巻産元晶石
高 4.5m 年 1960年

7. 阿部次郎の碑 (あべじろうのひ)



「白雲の行方を問はむ秋の空 次郎」(碑文) 哲学者の阿部次郎 (1883-1959) は、東北帝大教授として美学を講じた。碑の裏には青春の書として多くの若者の支持を得た「三太郎の日記」の一節が記されている。

形 石碑 年 1985年 設 阿部次郎記念会
東北大学に通じる哲学の道「三太郎の小径」のスタート地点

9. 「遁 -昨日・今日・明日-」(てい)



「仙台市彫刻のあるまちづくり」事業の「杜の都の彫刻」として設置された彫刻。青葉山公園内の国際センター西には同事業で設置された彫刻「三世代」がある。

形 像 作 藤原吉志子 材 ブロンズ
高 約7.5m (台座含む)
年 1995年 設 仙台市

11. 軍馬・軍用動物彰忠塔 (くんば・くんようどうぶつしょうちゅうとう)



日清戦争 (1894 ~ 95) から日中戦争 (1937 ~ 45) までに徴用された軍馬と軍用動物の功労を顕彰するために追廻練兵場に建立された彰忠塔。

形 石碑 年 1940年
設 宮城県産馬畜産組合

2. 支倉常長の碑 (はせくらつねながのひ)



伊達政宗 (1567-1636) の命で、スペイン・ローマに渡った支倉常長 (1571-1622)。1615年にはサン・ビエトロ宮でローマ教皇パウロ5世 (1552-1621) に謁見している。その様子を表したもの。

形 レリーフ 材 ブロンズ
年 1961年 設 仙台ライオンズクラブ

4. 東東洋の筆塚 (あずまとうようのふでづか)



東東洋 (1755-1839) は江戸時代後期の仙台を代表する画家の一人である。この筆塚には「恭封廃筆」(恭しく廃筆を封ず)の語と東洋の号「白鹿園」が刻まれる。1999年に市民から仙台市に寄贈されたもの。

形 石碑 高 106cm

6. 魯迅像 (ろじんぞう)



2001年に魯迅生誕の地である中国浙江省紹興市から、生誕120年を記念して贈られたもの。

形 胸像 材 銅 高 96cm (台座を除く)
年 2001年 設 紹興市人民政府

8. 残月亭 (ざんげつてい)



もと初代仙台区長松倉梅 (1827-1904) の家の庭に営まれた茶室を2000年に移築・復元したもの。「残月亭」の名前は由緒ある伊達家の茶室の名を受けつづ。仙台市指定有形文化財。

材 木造平屋建 建築面積 19.67㎡

10. 「無限の軌跡」(むげんのきせき)



五色沼は日本のフィギュアスケート発祥の地とされている。明治の中頃に外国から伝えられ、1931年にはここで全日本選手権フィギュアスケート競技も開かれている。

形 像 作 翁ひろみ 材 ブロンズ 年 1995年
設 五色沼日本フィギュアスケート発祥の地記念碑建立委員会

12. 白萩と秋川石 (しらはぎとあきかわいし)



伊達政宗が武蔵国の大悲願寺に咲く美しい白萩を所望したという縁で、1973年に古いきずなど友好のしるしに当時の東京都五日市町 (現在のあきる野市) から仙台市に贈られたもの。

年 1973年 設 仙台市